

寿台養護学校施設整備事業基本計画策定支援業務委託プロポーザル

審査講評

1 審査概要

本事業のプロポーザルでは、各分野を代表する5名の審査委員（以下「委員」という。）による審査委員会（以下「委員会」という。）により、実施要領を策定の上、一次審査及び二次審査を行い、慎重かつ厳正に審査した。

2 選定結果

委員会が選定した最適候補者等は以下のとおりである。

最適候補者	(株) カワグチテイ建築計画
候補者（次点）	千葉学建築計画事務所・第一設計共同企業体 代表構成員 (株) 千葉学建築計画事務所 構成員 (株) 第一設計
準候補者（次々点）	該当なし

3 審査経過

(1) 第1回審査委員会

日程： 令和6年5月8日（水）

場所： オンライン会議

内容： 実施要領等・審査方法等の協議

委員長の選出、募集要領における参加資格要件・実施要領等の協議

(2) 第2回審査委員会（一次審査）

日程： 令和6年7月19日（金）

場所： 長野保健福祉事務所会議室

概要： 二次審査対象者の選定等

最初に、提案書等の提出のあった9者について、参加資格を有すること及び提出書類について実施要領に規定する記載要領に従って作成されていることなど失格基準に抵触していないこと、更には委員への事前説明その他接触などがなく留意事項における禁止事項に抵触していないことを確認した。

次に、全者について、提案書等に対する印象・専門的知見からの講評を交えた意見交換を行った上で、各委員が3票程度ずつ投票を行い、二次審査対象者の選定に向けた議論の対象者を選定した。【表1】

投票結果について、投票数の少ない者から順番に意見交換を行い、二次審査対象者として4者を選定した。

【表1】一次審査 投票結果

投票数	対象者数	審査 No.
5票	1者	9※
4票	1者	4※
2票	2者	6※、8※
1票	2者	2、7
0票	3者	1、3、5
計	9者	

注1) ※は第二段階へ進んだ者 注2) 審査 No.は提出書類受付順

(4) 第3回審査委員会（二次審査）

日程： 令和6年9月1日（日）

場所： 寿台養護学校（長野県松本市）

概要： 実施体制及び提案書について、1者当たり15分の公開プレゼンテーションを4者続けて行った。続けて4者一斉に75分の公開ヒアリングを行った。

ヒアリング終了後、提案書並びにプレゼンテーション及びヒアリングなどを踏まえ、非公開にて次のとおり審議を行った。各委員が専門的知見に基づき、NSDプロジェクトの理念や学びに対する理解、設計の技術力などによる総合的に評価し、各者の作り出すバリューや課題などについて議論した。その上で、各委員が最大2票の投票を行った。【表3】

その結果を受け、票の少ない2者に対する意見交換を行い絞り込みの方法について議論した。その後、票の多い2者を対象に、最適候補者を決定する投票（各委員最大1票）を行った。【表4】

投票結果を踏まえ、最適候補者等の選定について議論したところ、投票結果に異論はなく、委員会の総意として、最適候補者に(株)カワグチテイ建築計画を選定した。また、候補者（次点）に千葉学建築計画事務所・第一設計共同企業体を選定した。準候補者（次々点）は該当なしとした。

【表3】二次審査 第1回投票結果

提案者名（発表順）		投票数
1	(株)カワグチテイ建築計画	5
2	(有)大建 met	1
3	NASCA+Eureka 共同企業体	1
4	千葉学建築計画事務所・第一設計共同企業体	3

【表4】二次審査 第2回投票結果

提案者名（発表順）		投票数
1	(株)カワグチテイ建築計画	4
4	千葉学建築計画事務所・第一設計共同企業体	1

4 講評

(1) 全体講評

二次審査対象の4者すべての提案が極めてレベルの高いもので、4者の中で、どの設計者を選んで問題ないという想いは、審査委員全体に共通したものであった。そのために、今回の審査は非常に難しいものとなったが、やはり1者を選ばなければならないということで、まさに苦渋の決定となった次第である。短い時間の中でこのような尊い努力を費やしていただいた皆様に感謝申し上げたい。

(2) 個別講評（二次審査対象者）

(株)カワグチテイ建築計画《最適候補者》

既存校舎に配慮した配置の巧みさや住宅地との関係性だけではなく、機能の考え方、さらには、一次から二次に至る際にさらに案を発展させたその柔軟性などが高く評価され、最適候補者に選ばれることとなった。建設費が高騰する中、実現に当たっては様々な課題があると思われるが、ここに至るまでの真摯さを引き続き発揮していただき、児童生徒たちのためにより良い環境を実現する本事業にお力添えいただきたい。

千葉学建築計画事務所・第一設計共同企業体《候補者（次点）》

空間の質に丁寧に配慮された構成や、一期目、二期目の関係構築の合理性など、すべての審査委員が高い評価をしていたものだった。その一方で、RC片持ちスラブについてはさらなる検討が必要であること、ボリュームを巧みにコントロールしているとはいえ三階建ての建物が周辺の住宅などにどのような影響を与えるかが議論となり、惜しくも最適候補者を逃すこととなった。しかしながら、真摯な受け答えや丁寧な設計能力についての信頼は、大きなものであったことを申し添えたい。

(以下、発表順)

(有) 大建 met

特別支援教育に対する深い理解に基づいて、素晴らしいプランをまとめあげたものであった。最終形態も非常に魅力的で、多くの評価を集めていた。しかしながら、20年間にわたって使われる第一期の環境がもう少し工夫の余地があったのではないかと、東側に寄せる配置の災害リスクをどのように考えるかなどの意見もあり、残念ながら最終的な審査に残ることは出来なかった。

NASCA+Eureka 共同企業体

地形のリスクを調整しながら、独立棟を建てた計画で、信頼性も高く、一次審査時の質問に対応して既存棟との関係を見直すなど、よく考えられた提案で、こちらもその設計力に多くの審査員が感銘を受けたものである。しかしながら、既存棟との関係性についてもう少し可能性はないのかという議論になり、こちらも最終的な審査に残ることは出来なかった。

5 プロポーザル概要

(1) 経過

令和6年5月8日	第1回審査委員会	
令和6年5月28日	公告	
令和6年6月12日 令和6年6月13日	現地説明会	
令和6年6月19日	参加表明書の提出期限	9者提出
令和6年7月17日	一次審査書類の提出期限	9者提出
令和6年7月19日	第2回審査委員会 (一次審査)	二次審査対象者の選定(4者)
令和6年7月29日	一次審査結果通知	
令和6年8月26日	二次審査書類の提出期限	4者提出
令和6年9月1日	第3回審査委員会 (二次審査)	公開プレゼンテーション 公開ヒアリング 最適候補者等の選定

(2) 審査委員会等構成

審査委員会(分野別・五十音順・敬称略)

区分	氏名	所属等	分野
委員長	寺内 美紀子	信州大学・教授	建築
委員	小野田 泰明	東北大学・教授	都市・建築・災害
委員	下山 真衣	信州大学・准教授	特別支援教育
委員	篠田 諭	JSCA長野・理事	構造
委員	小松 恭子	寿台養護学校・学校長	